

予 算 特 別 委 員 会 記 録

1. 日 時 令和8年6月5日(金)

午前 9時55分 開 会

午前10時36分 閉 会

2. 場 所 白 鷹 町 役 場 議 場

3. 議 題 (1) 議第85号 令和8年度白鷹町一般会計補正予算(第1号)について

(2) 議第86号 令和8年度白鷹町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

○出席委員(11名)

2番	衣 袋 正 人 委員	3番	横 山 和 浩 委員
4番	竹 田 雅 彦 委員	5番	佐々木 誠 司 委員
6番	丸 川 雅 春 委員	7番	金 田 悟 委員
8番	笹 原 俊 一 委員	9番	山 田 仁 委員
10番	関 千鶴子 委員	11番	今 野 正 明 委員
12番	遠 藤 幸 一 委員		

○欠席委員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	田 宮 修
教 育 長	迎 田 浩 昭
総 務 課 長	長 岡 聡
税 務 出 納 課 長	吉 村 秀 昭
企 画 政 策 課 長	加 藤 和 芳
町 民 課 長	橋 本 達 也
健 康 福 祉 課 長	永 沢 照 美
商 工 観 光 課 長	黒 澤 和 幸
農 政 課 長 併 農 業 委 員 会 事 務 局 長	橋 本 秀 和
林 政 課 参 与 (兼) 課 長	永 野 徹

建設課長	菊地	智
上下水道課長	高橋	浩之
病院事務局長	片山	正弘
教育次長	川部	茂樹
学校教育主幹	新野	文俊
監査委員	小谷部	仁
総務課長補佐 兼財政係長	鈴木	秀昭
総務課長補佐 兼総務係長	梅津	友宏

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	小林	裕
補佐	大瀧	勇祐
書記	竹田	雅紀子

○開会の宣告

○委員長（遠藤幸一） ご参集、ご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第 5 回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和 8 年度白鷹町一般会計補正予算（第 1 号）外 1 件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、配付の補正予算審査文書表のとおり、一般会計から順に令和 8 年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決をいたします。

なお、質問される方、答弁なさる方は、それぞれ簡潔明瞭にされるよう申し添えます。

また、質問される方はページを示していただきたいと存じます。

○議第 8 5 号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） それでは、議第 85 号 令和 8 年度白鷹町一般会計補正予算（第 1 号）についてを議題といたします。

初めに、補正予算説明書の概要について説明を求めます。長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） ご説明申し上げます。

令和 8 年度補正予算説明書の概要、2 ページをご覧ください。

初めに、一般会計の概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、国庫補助の採択を受け実施する小学校トイレ洋式化事業をはじめとする教育関連施策の対応や、地域医療体制の強化に向けた対応、消防力の充実強化に向けた対応など、引き続き重点 4 分野を着実に推進するため、必要かつ緊急性の高い事業について対応するものでございます。

歳入でございます。

款、補正額、主な内容をご説明申し上げます。

14 款国庫支出金 2,853 万 5,000 円、地域未来交付金 700 万円の減額、2 つ下がっていただきまして、学校施設環境改善交付金 3,295 万 4,000 円などでございます。

15 款県支出金 1,584 万 8,000 円、園芸やまがた産地発展サポート事業 180 万円、畜産生産持続強化支援事業 439 万 2,000 円などでございます。

17 款寄附金 210 万円、企業版ふるさと応援寄附金でございます。

18 款繰入金 4,515 万 1,000 円、公共施設整備基金繰入金 800 万円、白鷹人育成基金繰入金 715 万 1,000 円、医師確保対策基金繰入金 3,000 万円でございます。

19款繰越金1,626万6,000円。

20款諸収入150万円、国際交流支援事業助成金でございます。

21款町債2億1,980万円、過疎対策事業債1億680万円、小学校トイレ洋式化事業等への対応でございます。その他緊急防災・減災事業などでございます。

歳入合計3億2,920万円。

3ページをご覧ください。

歳出でございます。

共通事項といたしまして、人件費258万4,000円の補正を行っております。

款別の概要でございます。

2款総務費701万8,000円の減額、広域連携による関係人口・移住者創出事業1,000万円の減額、国庫補助採択に基づく調整でございます。2つ下がっていただきまして、地区コミュニティセンター費195万3,000円、分館施設整備事業の申請増加に対応するための追加計上、その他でございます。

3款民生費474万9,000円、2番目でございますけれども、敬老会補助金支給費、物価高や開催実態に対応するための助成拡充への対応でございます。その他、ご覧のとおりでございます。

4款衛生費3,025万5,000円、地域医療体制強化事業3,000万円、地域医療の確保に向けた奨励金への対応などでございます。

4ページをご覧ください。

6款農林水産業費3,173万5,000円、園芸やまがた産地発展サポート事業270万円、補助採択を受けた同事業の追加計上でございます。地域農業構造転換支援事業449万円、担い手育成確保に向け経営改善に必要な機械等の導入支援への対応でございます。畜産生産持続化支援事業527万円、経営体の生産基盤の機能強化に向け、暑熱対策等の取組支援への対応でございます。緊急自然災害防止対策事業1,200万円、鮎貝排水機場の災害防止工事に向けた対応でございます。その他ご覧のとおりでございます。

7款商工費200万円の減額、地域連携DMO推進事業400万円の減額、国庫補助採択に基づく調整でございます。創業支援事業100万円、利用見込みに基づいた同補助金の追加計上でございます。酒蔵原料米価格高騰対策支援事業100万円、物価高の影響を受ける酒蔵支援への対応でございます。

5ページをご覧ください。

8款土木費6,200万円、2つ目でございますけれども、緊急自然災害防止対策事業4,600万円、道路施設の災害予防保全対策への対応でございます。町道消雪施設整備事業1,000万円、冬期交通の安全確保に向けた消雪施設の更新への対応でございます。その他ご覧のとおりでございます。

9款消防費5,527万8,000円、消防力充実強化事業5,527万8,000円、持続可能な消防団

体制の構築に向けた設備及び施設整備への対応でございます。

10款教育費 1 億5,420万1,000円、白鷹人育成事業106万8,000円、青少年国際交流のさらなる推進に向け国際交流推進コーディネーター設置への対応でございます。学校図書館連携事業265万1,000円、学校図書館の利活用推進に向けた学校司書配置の対応でございます。しらたか夢・未来事業508万1,000円、同事業のキックオフイベントへの対応でございます。

6 ページをご覧ください。

小学校トイレ洋式化事業 1 億2,276万円、国庫補助採択を受け全小学校のトイレ洋式化に向けた整備への対応でございます。4つ下がっていただきまして、調理場設備整備事業1,138万7,000円、空調設備等の改修に向けた実施設計の対応、食缶の更新などがございます。そのほかご覧のとおりでございます。

歳出合計 3 億2,920万円。

以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。歳入歳出一括して質疑を行います。

5 番、佐々木委員。

○5 番（佐々木誠司） まず、歳出の消防費からお伺いいたします。

まずは予算書13ページ、消防車両等整備であります。軽積載車を導入するということでもありますけれども、今般、能登半島集中豪雨によりまして消防本部で導入を予定しております消防車両の納入が非常に大幅に遅れているという状況がございます。これは昨年5月に契約をした案件でございますが、本来、今年の3月の納期でありましたが、9月30日まで納入延期の願いが出されたということでございます。

その要因としましては、まずはそのコロナ禍の長期化により世界的な部品供給が混乱し、依然として安定した部品調達が確保できない状況が続いていること、それから、一昨年の能登半島集中豪雨による被害の影響が部品メーカーや物流に大きな影響を生じさせていると、生産工程にも遅れが発生していることが大きな要因となっております、これは全国的に同様な遅れが生じている状況でございます。同じような状況について今般の消防車両購入に関して懸念されますけれども、そのような遅れが出るような情報などは入っているのか、お伺いをします。

○委員長（遠藤幸一） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えをいたします。

あくまで現状でのお話になりますけれども、今回導入させていただく消防車両につきましては、可搬ポンプを軽自動車に積み込む形の消防自動車ございまして、消防ポンプ車のように専門的な改造等、一体型の改造が必要なものとは若干別だということもございまして、半年程度の納期で済むという状況は確認してございます。ただ、今後どのような形になるかということはありませんけれども、現状そのような形で年度内の対応が

可能だということで予算計上させていただいているものでございます。

○委員長（遠藤幸一） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

もう1点ですが、同じく13ページ、ポンプ庫整備工事であります。こちらポンプ庫を3棟整備するとお伺いしております。近年、中東情勢の悪化などによりまして原油、またナフサ由来の製品の輸入が滞っているという状況から、屋根材に使われるフェルトなどではありますが、先月5月2日にかなり大風が吹いたわけでありますけれども、そのときも大分白鷹町内でも住宅や小屋などの屋根が飛ばされる状況があったようではありますが、そういった資材が入らなくてなかなか補修ができないということをお聞きしております。そのようなことを考えますと、こちら納入時期に間に合わせることができるのか、そういった懸念もございしますが、そのような情報についてもいかがでしょうか。

○委員長（遠藤幸一） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えをいたします。

ポンプ庫の整備に関しましても、そのような難しい状況などもあることは認識しておりますけれども、現状といたしましては、こちらについても年度内の完成が見込めるというような判断の下で予算を計上させていただいております。

○委員長（遠藤幸一） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

年度内に整備されることを願うばかりでありますけれども、この先、どうなるか分からないということではありますが、万が一、そういった納入時期が遅れたり年度を越すようなことがあった場合、消防団の再編に向けて今準備を進めておるわけでありますけれども、そういったところに影響が出てこないのか、お伺いをいたします。

○委員長（遠藤幸一） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えをいたします。

遅れ等が生じた場合に影響ということでございますけれども、今現在それぞれ各班に小型ポンプなど配備されておまして、こちらにつきましては当然稼働するというようなことでございますので、遅れが生じた場合につきましては、導入時期は遅れるということがありますが、出動等に関して影響があるとは考えておりません。

○委員長（遠藤幸一） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

続きまして、教育費について伺います。

予算書の14ページであります。事務局費の中のPCB廃棄物運搬処理業務委託という部分であります。38万8,000円が計上されておりますけれども、このPCB、ポリ塩化ビフェニルの処分業務委託ということでありますが、現在保管されている現状と処分についての詳細についてお伺いします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えいたします。

P C Bにつきましては、油状の化学物質、ポリ塩化ビフェニルの略称でありまして現在は使用が禁止となっているものでございます。今回はソフトボール場などで使用していた低濃度P C B変圧器を今現在、旧鷹山小学校のプール管理棟に保管してございますけれども、そちらを収集運搬いたしましてP C B特別措置法に基づく処理を行うため業務委託料を計上させていただくものでございます。

委託業務の内容といたしましては、旧鷹山小学校の格納庫から処分場がある群馬県までの運搬と処分場での処理について業務を委託するものとなっております。

○委員長（遠藤幸一） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

使用が禁止されているものでありますけれども、町内の公共施設には現在まだそういったものは使用されているという事実はあるのか伺います。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えいたします。

このたびの処分ですべてP C Bは廃棄処分するというようなことで認識をしてございます。

○委員長（遠藤幸一） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 分かりました。

もう1点伺います。小学校トイレ洋式化改修工事であります。こちらも先ほどポンプ庫整備工事でお伺いした内容とかぶりますが、こちらも例えば硬質ポリ塩化ビニル管などをはじめとしたプラスチック、ビニール製品が大きく不足しているという状況をお聞きます。工事への影響について何かそういう情報などは入っているのかいないのか、お伺いします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

小学校のトイレ洋式化改修工事につきましては、このたび国の交付金が採択されたことから、それを活用いたしまして整備をさせていただくものでございますけれども、現在のところ、不足によって商品の在庫が少ないなど、そういった情報はこちらにちょっと入っていない状況でございますが、報道などを見ますと、8月受注分からトイレの受注分が値上がりするといった報道は聞いている状況でございます。

○委員長（遠藤幸一） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 町内の小売店でもそういった硬質ポリ塩化ビニル管などをはじめとしたプラスチック製品、もう在庫がすっからかんでいつ入るか分からないというような状況などもお伺いをしておりますので、実際工事を始めてみると、なかなか手に入ら

なくて工事を延期しなければならないという状況にならないとも限らないと感じます。万が一、そういった事態によって工期が大幅に延期されたりするようなことがあれば、児童の学習、または学校生活など教育現場への影響は大きくならないのか、その辺についての対策、または見解についてお伺いします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

これからもし予算が計上になれば、これから業者の選定をさせていただいて工事を行うわけですが、そのような事態にできるだけ陥らないように業者とも綿密な連携を取っていきたいと思いますし、様々なそういった状況、そういったものを注視しながら工事を進めてまいりたいと考えております。

○委員長（遠藤幸一） 5番、佐々木委員。

○5番（佐々木誠司） 大きく工期が延びたりした場合、工事期間も延びると思いますが、そういった場合にできるだけ子どもたち、または先生方の学校生活に影響が出ないように注視していただきたいと思いますが、その点について何かあればお願いします。

○委員長（遠藤幸一） 迎田教育長。

○教育長（迎田浩昭） 今後の予定ですが、工期については詳しく業者とも調整しながら進めることになるかと思うのですが、過去、長井市でも実際このようなことをなさっておりますけれども、その場合は子どもたちの学習、そして先生方への影響が極力ないように、校舎内にあるトイレを計画的に利用制限をかけながら工事完了に持っていくというようなことがございました。その辺も参考の上、たとえ工期が若干遅れるとしても子どもたちへ影響がないように調整を図ってまいりたいと思います。

○委員長（遠藤幸一） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 概要の5ページをお開きください。10款教育費で4点お伺いをいたします。

概要5ページの最初の丸、白鷹人育成事業についてお伺いいたします。国際交流推進コーディネーターを設置されるということでございますが、コーディネーターの役割というのはどのようなものなのかということ、併せて何を期待しての取組かということをお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

青少年国際交流事業につきましては、白鷹中学校及び荒砥高等学校の生徒が海外研修を通じて国際感覚や自己表現力などを養い、国際性豊かな人材を育成することを目的として実施しておりますけれども、今年度につきましては、教育的価値を高めていくための研修プログラムの策定や事前事後研修の充実による着実なフィードバックを行っていききたいことから、新たに国際交流推進コーディネーター1名を配置いたしまして、海

外研修先に帯同してもらいたいと考えてございます。

このコーディネーターの業務につきましては、海外研修先への帯同だけではなく、研修プログラム作成に係る助言や企画立案、事前事後研修のファシリテーター、それから今年度の研修に係る評価及び今後の目標設定などに係る助言など、この事業の総合的な調整を行っていただきたいと考えているところでございます。

○委員長（遠藤幸一） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。白鷹町らしいこの国際交流事業は大変すばらしい取組だと思っています。この取組をさらによいものにしていこうということで期待を申し上げます。

続きまして、同じく概要5ページの2つ目、学校図書館連携事業についてお伺いをいたします。学校司書を配置されるということでございますが、これも何を期待しての取組なのかということをお伺いします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

この事業につきましては、白鷹人育成事業を活用いたしまして学校図書館連携事業を推進するために行うものでございます。今年度、各小中学校に図書館システムを導入させていただきたいと考えてございますけれども、導入するに当たり、図書の推薦書をこの司書の方に行っていただくほか、図書への親しみを感ぜてもらうための環境づくりなども行っていただきたく学校司書を配置させていただきたいと考えているところでございます。

○委員長（遠藤幸一） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） はい、分かりました。

環境づくりもしていこうということでご期待申し上げます。

一方で、拝見しますと会計年度任用職員ということでございますが、これは単年度ではなくて今後ともこの司書は配置される予定なのかお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） はい、お答えをいたします。

学校司書につきましては、これまでの全国学力テストなどでなかなか児童生徒の読解力が低下しているというデータもございますので、なるべく本を子どもたちに借りてもらって読解力の向上につなげていきたいと、そういった目的がございますので、まずは何年かこちらの事業をさせていただきまして効果・検証をさせていただきながら、もし必要に応じて継続しなければならないときは続けていくというような形で今後進めてまいりたいと考えてございます。

○委員長（遠藤幸一） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

続いて、同じく概要5ページの3つ目、しらたか夢・未来事業についてお伺いをいたします。キックオフイベントをされるということですが、これは具体的にどのような取組なのかお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

しらたか夢・未来プロジェクトにつきましては、白鷹人育成基金を活用した白鷹人育成推進事業の取組の一つでありまして、日常や教科書では得難い本物に触れる経験を創出し、本町の児童生徒が自らの可能性に気づき、学びの土台となる関心や意欲を育みながら子どもたちの将来の夢や目標を後押ししていくことを目的としてございます。

具体的な取組内容といたしましては、第一線で活躍している方々による講演会、ワークショップ、それから多様な企業が参画する職業体験イベント等を今後10年程度にわたって実施してまいりたいと考えてございます。

なお、今年度につきましては事業のスタート年度に当たることから、関心と期待感を高めるマインドセットといたしまして、町内の児童生徒及び保護者を対象といたしまして第一線で活躍する方による講演会を開催したいと考えてございます。

○委員長（遠藤幸一） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

関心・期待を高めるためにということですが、これでざっくりと500万円の予算を使われるという理解でよろしいでしょうか。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

500万円につきましては、この講演会の運営費というようなことで業務を業者に委託をしたいと考えているところでございます。

○委員長（遠藤幸一） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。よい取組になることを期待申し上げたいと思います。

最後ですが、概要の6ページをお開きください。こちらの丸の上から3つ目、社会教育施設管理費（修繕費）委託料についてお伺いをいたします。こちらの概要と委託料について少し詳しくお伺いします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

こちらの委託料につきましては、平成21年に開館いたしました文化交流センターあゆむが今現在施設の老朽化が進んでおり、複数箇所での劣化や不具合が生じているという状態にありますから、長寿命化を図りながら計画的な改修を進めていくため、施設の現状調査の業務について委託をさせていただきたいと考えてございます。

○委員長（遠藤幸一） 3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。文化交流センターあゆむ、利用者の方からちょっと子どもだと何か引っかかって戸を開けられないという話を聞きますので、丁寧な調査をお願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（遠藤幸一） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 何点かお伺いをいたします。

概要の3ページ、総務費の中の3つ目、地区コミュニティセンター費でございますが、昨年度の当初予算よりも300万円ほどアップして900万円超の当初予算が組まれたわけでございます。分館の例えば解体費が50万円から100万円に上がったということで当初予算も大きくなったわけでございますが、さらに200万円弱の補正予算を組んだということは、各分館でどのような要望があつてどういう取組をしていくのかお伺いをいたします。

○委員長（遠藤幸一） 加藤企画政策課長。

○企画政策課長（加藤和芳） お答えいたします。

こちらの事業につきましては、各地区コミュニティセンターを通しまして、昨年10月ぐらいに各分館の整備状況を把握した上で当初予算に計上した金額でございます。

今回におきましては、4月になりまして再度、各分館から調査を行いまして増額を計上させていただいたところでございます。

議員からのご質問にございました傾向としましては、エアコンの設置事業、また今年、増額をしました分館の解体費補助になりますが、当初では1館予定しておったところが今回追加で1館、合計2館の解体費の補助をお使いいただくこととなっているところでございます。

以上です。

○委員長（遠藤幸一） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 分かりました。各地区の地域課題が少しでも解決できるよう期待をいたします。

次でございますが概要書の4ページ、商工費の創業支援事業でございます。当初予算案では160万円ほどの予算だったわけですが、プラス100万円ほど追加計上になったということでございます。相談等々は何件ほどのものがあつたのかお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

現在の創業支援の申請状況といたしましては、既に申請済みが1件、具体的に今申請に向けての調整を行っているものが1件ということで、現在具体的な動きは2件となっております。

そのほか、相談として賜っているものが2件ということで、このたびの増額補正をさせていただきたいというところでございます。

○委員長（遠藤幸一） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 分かりました。

それで、当初予算の160万円ほどあったわけですが、その現在のまでの実績、もしお話しできる範囲で結構ですが、お聞かせ願えればと思います。

○委員長（遠藤幸一） 黒澤商工観光課長。

○商工観光課長（黒澤和幸） お答えをいたします。

今申請を既にいただいているものにつきましては、カフェを開業したいということでございます。また、今申請に向けて調整中のものにつきましては宿泊業ということで伺いをしております。

○委員長（遠藤幸一） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 分かりました。少しでも町のカフェですとか、それから宿泊業という、いわゆる町のにぎわいとそれから交流人口等々も含めて大いに期待をしたい事業でございますので、ぜひ今後とも継続をお願いしたいと思います。

次ですが、概要書5ページでございます。土木費の町道消雪関連でございます。ここは私の地元でもございまして消雪道路ですが、非常に道は狭くて時速30キロメートルぐらいの道でございます。それが国道287号から国道348号への抜け道になってございまして、それなりに交通量が多いということがございます。工事の際、狭いものですから、例えば全面通行止めにするのか片側交互通行で車を通すのかなど、住民に対する影響はどのようなものがあるのかだけ伺いをさせていただきます。

○委員長（遠藤幸一） 菊地建設課長。

○建設課長（菊地 智） お答えをさせていただきます。

今回補正予算に計上させていただいております琴平公園前付近でございますが、委員からありましたとおり、国道287号から国道348号に抜ける道路として利用者も多数いらっしゃるかと認識しているところでございます。

工事の期間につきましては、基本的には片側交互通行と考えておりますが、場合によっては一時的に全面通行止めも必要になることもあるかもしれません。

なお、この工事の計画によりまして通行止め、片側通行、こういった対応が必要な場合は、地元の皆様への周知等々につきましては遺漏なく取り組ませていただきたいと思いますと考えております。

○委員長（遠藤幸一） 4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 分かりました。ぜひよろしくお願いをいたします。

最後です。概要書6ページでございます。教育費の上から2番目の部活動の改革関連でございます。当初予算では310万円ほど計上になってございまして、今回新たに300万円が追加計上となりました。部活動の地域展開がさらに充実するものと非常に期待をいたしておるわけでございますが、この内容とそれからこれを実施して今年で全面的に部

活動が地域展開になるわけですが、今後の課題がありましたら伺いをいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えをいたします。

部活動の地域展開につきましては、今年度から本格的な施行ということになってございまして、昨年度、国でのガイドラインの策定が遅れてしまったことなどの理由によりまして今年度の町の予算が骨格予算であったことから、今回骨格予算への肉づけをさせていただきたいと考えてございます。

補正の内容につきましては、指導者講習会の講師謝金 1 回分を増額、それから推進協議会の委員謝礼 1 回分を増額、それから指導者謝礼、それから総括コーディネーターの旅費について 6 月から来年 3 月までの 10 か月分について増額をするものでございます。それから、今年度から新たに 1 団体がクラブに加入したことから、その 1 団体分の消耗品費を増額させていただきたいと考えてございます。

今後の課題といたしましては、先ほど申し上げましたが、国のガイドラインの策定の時期が大変遅かったんですけれども、昨年 12 月に策定されまして、その後、県のガイドラインが策定されたということで、町のガイドラインがそういったことからちょっといまだ整備できていない状況となっておりますので、それにつきましては、来年度の取組に向けまして今年度中にガイドラインを固めさせていただきまして、来年度からの本格施行ということで進めさせていただきたいと考えてございます。

○委員長（遠藤幸一） ほかにございませんか。第 2 表、地方債補正に係るものや全体的な事項についてもございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） ないようですので、質疑終結と認めます。

○議第 86 号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） 次に進みます。議第 86 号 令和 8 年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要 6 ページをお開きください。

介護保険特別会計の概要でございますが、歳入歳出それぞれ 129 万 5,000 円の補正を行うものでございます。

概要及び説明につきましては、介護保険制度改正に伴うシステム改修への対応でございます。

以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了いたします。

○議第 8 5 号の採決

○委員長（遠藤幸一） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第85号 令和8年度白鷹町一般会計補正予算（第1号）について採決をいたします。

議第85号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第 8 6 号の採決

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第86号 令和8年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第1号）について採決を行います。

議第86号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（遠藤幸一） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算2件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（遠藤幸一） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉 会

〈午前 1 0 時 3 6 分〉